

海外派遣研修「ジェネラルプログラム（オリパラシティコース）」

開講式、オリエンテーション、事前研修の様子

7月13日（土）に、東京都教職員研修センターで、開講式、オリエンテーション、事前研修が行われました。パリの研修に参加するのは、約60名の規模ということで多くの生徒、保護者が参加しました。参加校は全日制高等学校だけではなく、特別支援学校からも参加します。



説明会では、海外派遣の具体的なスケジュールや、渡航の手続きについて説明されました。

いつもの説明会と違うのは、ろう学校の生徒のために、手話通訳が行われたことです。説明された内容は、リアルタイムで文字起こして、スライドに投影されました。また、盲学校の生徒による、障害についてのプレゼンテーションもありました。一言で障害と言っても、生徒によって見え方が違うこと、それによって学習方法や周囲が気を付けることもそれぞれ違うこと等について学びました。

隣り合う別会場で説明を受けていた、知的障害特別支援学校高等部の就業技術科の生徒からは、自己紹介がありました。海外派遣への強い思いが伝わりました。

生徒交流では、4名のグループに分かれて、事前にフランスについて調べてきたことを共有しました。全日制の生徒がろう学校の生徒と話し合う際には、スマートフォンのメッセージアプリを使ったり、音声で文字起こししたりする等、様々な工夫をしながら交流していました。

冒頭の都教育委員会挨拶では、2040年の東京に住んでいる10人に一人は外国人であり、様々な国籍の人と一緒に暮らしていく社会が目前に迫っていると話がありました。それだけではなく、障害のある人もない人も一緒に力を合わせて社会を作っていくのだというメッセージは、本校の生徒にも響いたことだろうと思います。

各校ではこれから研究テーマを決めて、フランスについて事前学習を進めてきます。10月の発表に向けて頑張ります。